



Be a gift to the world

世界への
プレゼントになろう

2015～16年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2015～2016)

会 長/梅 原 薫

幹 事/井 上 克 彦

会報委員長/細 川 喜 弘

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2446

第2577回 平成28年5月11日(晴れ)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 斉藤香織様(日本防災植物協会事務局長)

5月18日(水)のプログラム：地区大会報告

5月25日(水)のプログラム：会員スピーチ

【会長報告・挨拶】梅原会長

- ・ゲストの紹介です。日本防災植物協会事務局長斉藤香織様です。本日のスピーチよろしくお願いします。もう一方のお客様のご紹介は大杉幸雄会員にお願いします。
- ・さて、嬉しい報告です。本日より新しい会員が増えました。久保田美世会員です。田辺会員より紹介をお願いします。これで当クラブの会員数は50名になりました。
- ・週末は地区大会です。やっと気が楽になりました。

大杉幸雄会員

お客様の紹介です。四万十地域国際交流促進協議会の交流員のキム・ヘミン様と四万十町役場企画課の金澤万里子様です。プログラム委員長と調整して、後日スピーチをお願いします。

【幹事報告】井上幹事

- ・前田ガバナーエレクトより地区協議会の礼状
- ・ロータリーの友 5月号 拝受
- ・全国ロータリークラブ野球大会事務局より熊本地震義援金のお願い
- ・中村青年会議所より創立60周年記念式典のご案内

【委員会・会員報告】佐田会員

中村フットボールクラブ壮行会のご案内です。中村FCは四国サッカーリーグに参戦し3年目になります。幡多のサッカーを盛り上げたいと思っていますので、多数ご参加ください。
6月12日 18:00～新ロイヤルホテル四万十

【新会員入会式】推薦者 田辺 豊会員

久保田 美世 昭和37年9月12日生れ
住所：四万十市中村弥生町13-1 308
勤務先：(株)M企画 代表取締役
学歴：高知商業高校 卒業
趣味：読書
職業分類/飲食店
職業奉仕員会、親睦委員会 所属



この度、歴史ある中村ロータリークラブに入会させていただくことになりました。分からないことばかりですが、精一杯頑張りますので、皆様方にはご指導賜りますようよろしくお願いします。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 斉藤香織様（日本防災植物協会事務局長）



『防災植物ってなあに』

皆さんこんにちは。私は四年前にIターンで東京から移住してきました。普段はシニア野菜ソムリエ、食育マイスターとして、食の普及に関する仕事をしています。

今日は、防災植物とは何か、そして防災植物協会の取り組みと今後のビジョンについてお話しさせていただきます。私達の身の回りに自生している植物の中には、食べられる植物がたくさんありますが、その中から特に「災害時、食糧供給が困難になった時でも、安全かつ簡易に食糧となる植物」を『防災植物』と定義しました。この言葉を作ったのは、高知を代表する植物学者の澤良木庄一先生です。澤良木先生は、防災を考える時、まず自然（植物を含む）をよく知ることが大切なのだと言われます。高知県で災害と言えば、南海トラフの巨大地震がまず思い浮かびますが、今地球環境が突然変異しており、いつどこで何が起こるか、もはや予測し難いと言えます。先日の熊本地震もそうです。私達はこれから、「自分の命は自分で守る」自助の意識を持たなければいけません。周辺に自生する植物を観察しながら環境をよく知ること、そしてそれをどうしたら食料にできるのかを学ぶことは、今後非常に大切なことです。植物がご専門の先生と、食に携わる私、互いの専門分野が合致しまして、昨年7月に「日本防災植物協会」を立ち上げ、『防災植物』の普及を始めました。商標登録もしています。

私達は、体験型の「防災植物教室」を定期的に開催しています。この教室は①野外観察と植物採集、②植物の学習、③植物を実食の三つで構成さ

れています。まずよく自然を観察する、そして植物の名前や食べ方、また中には有毒なものもあるのでその見分け方を学習する。最後に学習したものを食べてみる。この食べるという行為で、学習がより一層記憶に残ると考えています。

『防災植物』の食料としての利用法は二種類あります。一つは災害時に調味料や調理器具が潤沢に揃わない状態でも、「命をつなぐ」食べ方です。被災して避難所に逃げたとすると、そこには備蓄の食料もあるでしょう。それらも一緒に利用した食べ方も考えています。避難所生活が続くと、ビタミン、ミネラル分が不足するので、野菜の代わりに、補助的役割にもなり得るでしょう。二つ目は、「日常の食卓で楽しむ」食べ方です。お肉や魚と一緒に、親子で楽しく作れるメニュー作りもしています。日頃から親しんでいかなければ、いざという時に活用することはできませんね。『防災植物』は、日常と非日常（災害時）を緩やかに近づけるツールになるともいえます。

今後は研究の成果を書籍にまとめる、出張教室を各地で行うなど、日本全国に『防災植物』を普及させ、自然への興味を深めるとともに防災意識の高揚を目指していきます。また『防災植物』は、四万十の豊かな自然の中から着想されました。

今後全国に普及すれば、同時に四万十のPRにもなります。地域活性にも役立てるのではないのでしょうか。是非みなさんにも、私たちの活動にご参加とご協力をいただけたらと思います。

本日はありがとうございました。



【ニコニコ箱】

梅原会長：斉藤様、スピーチありがとうございました。久保田さん、入会おめでとうございます。
大杉(幸)会員：久保田さん入会おめでとうございます。斉藤さん、貴重なスピーチありがとうございました。
中島会員：久保田さん入会おめでとうございます。皆様に忘れられないように頑張って出席します。

【出席報告】 ・会員総数50名（免除会員6名）

・本日の出席/35人 79.55%

先週の訂正 MU6名 65.12%→83.72%